

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 当院における胆管結石性胆管炎に対する治療成績の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 消化器内科 職位・氏名 准教授・伊藤 謙

【情報の利用目的】

胆管結石性胆管炎に対する治療は現在、内視鏡を用いた胆道ドレナージ(胆道の胆汁の流れを良くする事)と胆管結石の除去が標準的な治療となっています。しかし、超高齢者の増加に伴い、超高齢者の胆管結石胆管炎に対する内視鏡的治療の偶発症に対する予防策の検討などが必要な課題とされています。本研究で取得した情報は、当院における胆管結石性胆管炎に対する内視鏡的治療の治療成績、安全性の向上を目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、胆管結石性胆管炎の内視鏡的治療の治療成績の向上と偶発症の低下につながります。

【他機関への提供】

単一研究のため、他機関へ情報の提供はおこないません。

【研究に用いられる情報】

情報: 病歴、診療の治療歴、偶発症等の発生状況、個人情報 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【情報の利用を開始する予定日】

2025年1月より利用を開始します。

【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

単一研究のため、他機関へ情報の提供はおこないません。

【情報の取得方法】

対象者: 2007年1月～2024年11月までに東邦大学医療センター大橋病院

消化器内科において、胆管結石性胆管炎の診断で初めて内視鏡的治療を受けた方およそ260名

方 法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

観察期間: 胆管結石治療終了まで

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 伊藤 謙 役職: 准教授

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者:伊藤 謙 役職:准教授

他、研究分担者として東邦大学医療センター大橋病院消化器内科の医師 4 名が利用します。

【情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025 年 2 月 28 日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は、利用を行いません。患者様ご本人だけでなく、代諾者の方からの申し出も可能です。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科

職位・氏名 准教授・伊藤 謙

電話 03-3468-1251 内線 2022